

大勢の人との出会いが財産となる

だきたいので、まずは私自身の考えを話します。私は市長になるまで、地域の人たちといるという事にとり組んできました。その姿勢は今でも変わりません。役所は地域と一体となっていないといけないと思います。これは私が公民館長をしていたころのことです

が、当時、公民館の文化祭は、今のように活発ではありませんでした。そこで通り掛かった人が輪の中に入って来られるように、模擬店や催しを参加団体の協力も得て工夫したものです。石関さんは学園祭で地域還元を考えていたそうです。が、どんな風に行いましたか。

石関 自分ならどんな学園祭に行きたいかと考えました。うちの大学は駅から遠いので、スクールバスを増便し、時刻表などを早くから公表しました。さらに専用ホームページを作るなど、広報活動も充実させました。それから、形が見えてきた段階でお客様の流れや視線を何度もチェックし、どんなところに注目し、どんなことに興味を持たれるかを考えました。

市長 なるほど。さすがに細かいところまで気遣いが行き届いていますね。一つのことを実現するためには、通常の5倍、10倍の努力が必要とされます。その努力をするという過程が、私は一番大切な

ではないかと思えます。

有瀬 私は、もうすでに実施している地域もあるようですが、駅前のごみ拾いなどに、大勢の人を巻き込んで実施すると良いと思います。自分のまちをきれいにすることは高齢者の生きがいにつながるでしょうし、住民を巻き込んで実施すれば、みんなが自分たちのまちを自分できれいに保とうと考えるようになると思います。

市長 おっしゃるとおり、まちづくりの基本は市民です。ですから、市民との協働で、今後のまちづくりを進めていくつもりです。

人と出会い

交わることで得たもの

市長 さて、皆さんはそれぞれに、これまでいろいろな人と出会い、さまざまな経験をしてきたと思いますが、人との交わりで得たものを教えてください。

小熊 私は何といっても、実習先での中学生との交流ですね。話をしたことはなくても、通りすがりに会釈してくれるなど、私のことを知っていてくれるのが分かり、とても嬉しかったです。東中学校はあいさつが自然に出てくるよ

うな雰囲気です。今は毎朝生徒たちが校門に立ち声かけをしています。

市長 素晴らしい取り組みですね。では、人生に大きな影響を及ぼすような出会いについて、ほかの人にも聞いてみましょう。アルバイトをしている人もいますね。学校生活では出会えない人と接することがあるのではないですか。

有瀬 私は高齢のお客様に「あなたが楽しみになる」と言っていたことができました。自分のことをそんな

風に思ったことはなかったのですが、その一言で自信が持てました。

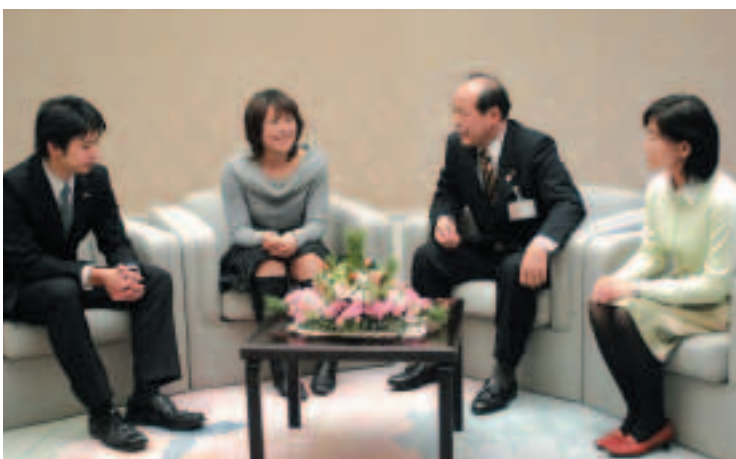
そして、もっと多くの人に、私の笑顔で良い気分になってもらいたいと思い、それからはできるだけ笑顔顔を絶やさないようになっています。来年は幼稚園教諭となりますが、「笑顔の素敵な先生」と言ってもらえるように頑張ります。

市長 良い経験をしましたね。頑張ってください。

有瀬 ありがとうございます。また、実習で出会った子ども達との関わりも、私にとって大切なできごとでした。うまく自分を表現できず、問題行動を起こしてしまう子がいたのですが、その子と、実習期間内にぜひ仲良くなりたいと思ったのです。

小熊 そのためにどんな風に接したのですか。

有瀬 初めは近寄ると拒まれました。でも、何度も笑顔で接しているうちに、泥団子の作り方を教えてくれたんです。私は、「ありがとうございます」と喜んで教えてもらいました。その後、違う子に気を取られていたのですが、その子はその



相手を思いやる気持ちや近所づきあい、あいさつがなくなりつつあります。そういう日本古来の心を取り戻したいですね



市では、市内の高校や大学との交流を、もっと増やしていきたいと考えています。皆さんもぜひご協力ください

間、ずっと私のために泥団子を作っていてくれたのです。とても感動し、気持ちを通じたんだな」と思えました。

市長 素敵な経験ですね。小さな子どもとの出会いでも、大きなことを得られることがありますね。小熊さんはいかがですか。

小熊 私もできるだけ生徒に声をかけるように努めています。また、教育実習やインターンシップ、アルバイトなどを通じていろいろな考え方があることを知り、大きな影響を受けました。

石関 私の場合、個人的なことなのですが、一昨年、自分をとても可愛がってくれていた祖母を亡くしました。その葬儀で進行をしていた葬儀プランナーにお会いしたことが、私の人生で大きな出会いです。

市長 どんな方だったのですか。

石関 対応が素晴らしいです。大切な人が亡くなり悲しみにくれる私たちへの接し方に、とても感銘を受けました。悲しんでいる人に接するのは、例えば喜びの場である結婚式などよりも、余計に神経を遣うと思います。しかしこの方はすべてに過不足なく対応してくれました。実はこの方に影響を受け、私は将来の夢として、同じように葬儀プランナーになりたいと思ったのです。

市長 そうでしたか。頑張ってください。

これからの人生設計 今後の社会に必要なこと

市長 人生の夢の話が出ました。皆さんは、今後、人生をどんな風に組み立てていきたいですか。

石関 学園祭で、ゼ口から人々のニーズを考え、行動したことで、さらに充実したイベントを創りたいと考えるようになりました。

小熊 仕事に無意味なことなど何もないということを学びました。私は、教育で人を育てると思っていましたが、自分自身がさまざまな経験をしたことで、例えば職場体験や企業研修などを通じて、人は成長するのを知りました。

特集・市長新春座談会 市内大学の交流を期待

これからは学んだことを生かし、人生設計をしていきます。

有瀬 私は思いやりのある、心豊かな子どもを育てたいです。人を愛せて、友だちをつくれる子に育て、元気に遊ぶ中で学べるように。そして私は、それを笑顔で見守って、安心感を与えたいです。

市長 大切なことですね。皆さんを取り巻く社会環境を考えたと、何か思いはありますか。

石関 私はサービスを学んでいるので、そういうことを考える機会が多いのですが、日本古来の、相手をおもんばかる「気持ち」が少なくなってしまうと感じます。

有瀬 近所づきあいが薄れたのも気になります。うちの近所は、お帰り「ただいま」と気軽にあいさつができますが、近所の人のところか隣にだれが住んでいるかも分からない環境もあると聞き、驚きます。

市長 地域差も大きいですね。小熊さんはいかがですか。

小熊 人付き合いには、有瀬さんのおっしゃった「あいさつ」が重要なキーになると思います。世代をつなぐ架け橋ともなるものから、あいさつが欠けていることで生まれる不要な誤解などもあるでしょう。「ありがとう」の一言が言えるかどうかで雰囲気ガラッと変わるので、言わなくても通じて

ているだろう」という考えではなく、気付いたら相手に伝えることが必要だと思えます。

市長 皆さん、とても素晴らしい考えをお持ちですね。私も、大勢の人との交わりが自分の財産ですから、それを大切にしたいと思っています。それから、皆さんにお願いがあります。子どもに自分が働いている姿を見せることが、とても大切だと思つので、そういう立場になったら心がけてください。それから、市では市内の大学とのつながりをもっと増やしたいと考えています。そのために、皆さんもぜひご協力ください。

石関 ありがとうございます。今は各校のつながりも少ないので、今後は例えば学園祭に他校の学生を招待するなど、交流をしていけると良いと思います。

有瀬 来年度にはうちの短大に4年制の学部ができます。これまでよりも学生生活にゆとりができるでしょうから、各校の交流なども活発にしていけると良いですね。

小熊 楽しみですね。

市長 今日は有意義なお話をいただき、ありがとうございます。今後の活躍に期待しています。

問合せ広報課へ内線7162